

公園内で見られる 植物

写真は12月17日(土)
自然観察会で見られた
植物です



ウラジロ

葉の裏が白いことから「ウラジロ (裏白)」と呼ばれています。



ヤツデ (ヤツデ属)

花/雌雄同株。11～12月、枝先に球形の散形花序を円錐状につけ、白い小さな花を多数つける。



オウレン (オウレン属)

山地の林内に生える常緑の多年草。別名キクバオウレン



フユイチゴ (キイチゴ属)

果実/集合果。直径約1 $\frac{1}{2}$ の球形で、11～1月に赤く熟す。



マサキ (ニシキギ属)

果実/蒴果。直径6～8 $\frac{3}{4}$ の球形で、11～1月に紅色に熟し、4裂する。種子は橙赤色の仮種皮に包まれ、落ちずにぶらさがる。



サネカズラ (サネカズラ属)

果実／集合果は直径2～3㌘の球形、11月に赤く熟す。名前の由来／樹皮からとった粘液を整髪に使ったので、ビナンカズラの別名がある。



ハゼノキ (ウルシ属)

果実からロウを取るのでロウノキともいう。ヤマハゼに大変よく似ているが、こちらは葉や枝が無毛なのが特徴。



ヤブムラサキ (ムラサキシキブ属)

果実/核果。直径3~4mmの球形で、紫色に熟す。下部は毛が密生した萼片に包まれる。



イヌホオズキ (ナス属)

別名バカナス。ホオズキやナスに似ているが役に立たないことによる。



ホトケノザ (オドリコソウ属)
別名サンガイクサ。葉が段々につくことによる



ツワブキ (ツワブキ属)
葉に光沢があるフキの意味の艶薺がなまったといわれる。花期／10～12月